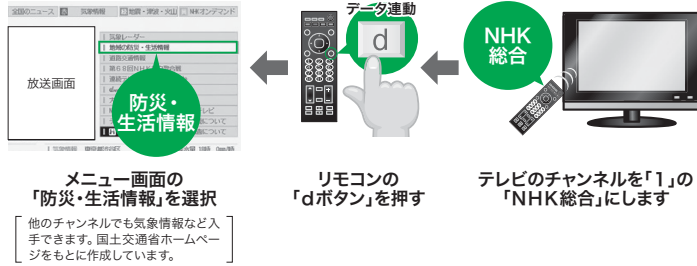




大雨が降って洪水が心配! その時あなたは どうしますか?

平成30年8月6日藤島川を撮影(土口町内会付近)

◎どうやって情報を確認するの?【テレビでの確認方法】



避難情報を入りましょう

災害発生時等の町からの避難情報は、屋外放送、スマートフォン・携帯電話のエリアメール、町ホームページ、テレビなどでお知らせしますのでご確認ください。

◎何を持って避難すればいい?

【非常時持ち出し品の例】

- ・非常食
- ・飲料水
- ・貴重品
- ・懐中電灯
- ・携帯ラジオ
- ・生活用品
- ・衣類
- ・医薬品



日ごろからの備えが大切です

日ごろから洪水に備え、洪水氾濫の危険がある場合にどのような行動をとるべきかについて考えることが大切です。洪水が起ったときは「公助」のみならず、自分の身は自分で守る「自助」、地域で助け合う「共助」が重要です。

家庭では、安全・迅速に避難するために、日ごろから必要な持ち出し品を準備し、避難場所や避難経路の確認などをおこなってください。

地域においては、自主防災組織の役割分担や、近所の高齢者などの避難の呼びかけの仕方など、事前に確認しておくことが大切です。

◎町からの避難情報について

8月6日の大雨による町内の避難情報について

8月5日からの大雨により、藤島川が増水したことから、町では町民の生命を守るため、8月6日に次の避難情報を発令しました。

午前5時35分
避難準備・高齢者等避難開始発令
対象地区：土口、落合、押切町(窪地区)

午後0時10分
避難勧告発令
対象地区：土口(宇御蔵下・村西地区)

午後3時
避難場所・押切小学校体育館・社会福祉センター

午後3時30分
避難準備・高齢者等避難開始解除
避難勧告解除

避難場所を確認しましょう

避難場所は、各地域の小学校の体育館や、町内会の公民館などになっています。被害状況により避難場所が変わる場合もありますので、避難情報を確認しましょう。

洪水ハザードマップ

町では、近年多発する集中豪雨や洪水被害に対応できるよう、「三川町洪水ハザードマップ」の見直しを行います。

洪水ハザードマップは、洪水発生時の浸水想定区域や避難場所などを示したものです。今後、町民の皆さまから意見をいただき、見直しに反映していきたいと考えています。

なお、見直し後の洪水ハザードマップは全戸配布により、皆さまにお知らせをする予定です。

町からの避難情報について

災害の発生時等において、町長が「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」または「避難指示(緊急)」を発令する場合があります。これらの違いをよく理解し、自らの身を守りましょう。また、危険を感じる場合などは、自らの判断で早めに避難することも重要です。(左図の順番通りに発令するとは限りません)

危険管理 専門員から

前勤務地である秋田県横手市で、去年の7月22日、梅雨前線に伴う大雨による洪水を経験しました。俗に言う、線状降水帯による集中豪雨です。日降水量262mm、最大1時間降水量は68mmでした。幸い、犠牲者は発生しませんでした。幸い、犠牲者は発生しませんでした。幸い、犠牲者は発生しませんでした。

横手市では事前準備として、自地域の洪水リスクに応じた避難経路・避難場所をしっかりと決めていました。

さらに、近年の洪水で犠牲者の7割超が65歳以上の高齢者ということから、地域で「一人」で避難できない方の安否確認や避難支援方法の確認を行っていました。

これらを準備しておいたことが、去年の洪水で犠牲者を出さなかった大きな要因であると考えています。そのため、町内会等の防災訓練では、体制整備を含めて実践されることが、地域の防災力の向上に繋がると思っています。

繰り返しますが、住民の皆さまが洪水に限らず災害リスクを知って頂くことも、個人・家庭・地域で備えることが大切だと思います。備えあれば憂いなし。

三川町危機管理専門員 川井 緑

問合せ先 役場総務課 危機管理係
☎35-7010

◎いつ避難すればいいの?【避難情報の種類】

